

令和7～9年度びわこボート実況アナウンス業務 仕様書

1 業務の目的

本場レース開催日において、魅力的なレース実況や司会進行、インタビュー等をファンへ提供し、もってびわこボートの注目度向上や舟券購入意欲促進を図る。

2 業務の遂行にあたって

アナウンサーはいわば場の顔となる存在であり、また場の顔としてファンに認知いただくにも長い時間が必要となる。したがって、アナウンサーの育成や配置、メンバー交代等は、場の将来像を見据えた長期的な視点で行われるべきである。このため、育成や配置の方針等、業務の基盤となる部分については、甲乙協議し十分に認識を共有したうえで実施すること（方針決定後の具体的なシフト編成については、原則乙に委任する）。

3 契約期間

令和7年4月1日 から 令和10年3月31日 まで

4 業務内容

【共通事項】

- ・本場レース開催日数は年間186日を予定しているが、中止順延や背景事情の変化により、日数が前後する可能性がある。
- ・ボートレースの実況等を行えるアナウンサーを2名以上確保していること。業務の中核を担うアナウンサーは、公式なボートレース実況経験を有する者であること。
- ・本場レース開催日にアナウンサーが手配できないという事態を避けるため、十分なバックアップ体制を整えておくこと。

【レース実況】

- ・レースの内容、展示タイム、レース結果等を、正確かつ詳細に実況すること。
- ・優勝戦終了後、ウイニングランの放送を実施できる体制を整えること。
- ・スタート事故等が発生した場合、ファンに対し手持ちの舟券に対する注意喚起を行う等、ファンの混乱を招かないよう明確な放送を行うこと。
- ・電話投票ポイントや企画レース等、各種サービスと連携した放送を実施すること。

【インタビューおよび表彰式】

- ・優勝戦出場選手インタビューおよび優勝者表彰式の司会進行を実施すること。
- ・留意事項は以下4点。
 - (1) インタビューや表彰式の対応費は、契約の単価に含まれる。
 - (2) インタビューや表彰式は原則競技棟にて無観客で開催するが、注目度の高いレース等においては、本場内1階イベントステージにて有観客で開催することがある。
 - (3) 大型レース開催時等においては、別途イベントを手配することがある。この場合、インタビューや表彰式の対応を不要とする。
 - (4) 以上(2)(3)に該当する場合は、都度甲から乙へ通知する。

【その他業務】

- ・水神祭、新人選手紹介セレモニー、引退セレモニー等が実施される場合、司会進行やインタビューを実施すること。
- ・終戦記念日等に黙祷を実施することがあるので、甲の用意する原稿に従い、案内放送を実施すること。
- ・その他甲が必要と認めた業務であって、甲乙協議のうえ本契約の範囲内であると合意した業務については、乙が実施すること。

5 その他

- ・レースの開催を中止する場合であって、中止当日の午前8時までに乙へ開催中止の連絡を行った場合、その日は勤務日数に含めず委託料は発生しないこととする。
- ・実況音声は、甲が必要と認めた媒体へ提供を行い、自由に二次使用できるものとする。
- ・感染症の拡大防止対策等、場全体としてルールを定めている取り組みに関しては、関係者の足並みを揃えることが重要である。甲からの要請があった場合、乙は適切に対応すること。
- ・担当アナウンサーが分かるよう、あらかじめシフト表を作成し提出すること。また、当日担当アナウンサーが出勤できなくなった場合に誰が担当する予定であるか、バックアップ体制についてもシフト表に記載しておくこと。
- ・1か月単位で業務完了報告書を作成し、業務実施状況の報告を行うこと。業務完了報告書には、当該月間の各アナウンサーの担当実績を記載すること。
- ・やむをえない事情により業務内容を一部変更する場合の対応や、本仕様書に定めのない事項については、甲乙協議のうえ決定する。